

遮断機、警報器なく危険



勝手踏切とみられる真岡鉄道の線路の通り道。地面が踏み固められている。2日午後、益子町

国交省調査

踏切が設置されていない線路を住民が日常的に横断する「勝手踏切」が2024年12月時点で、県内に231カ所あることが10日までに国土交通省への取材で分かった。前回調査（21年1月時点）より32カ所増えた。国交省によると全国に1万5553カ所あり、前回調査から1割も減っていない。国は解消を急ぐ方針だが、封鎖といった手法は費用面から現実的でなく、住民の利便性とも対立するため、鉄道事業者は黙認せざるを得ないのが実情だ。

住民「ないと不便」

対策進まず

勝手踏切に明確な定義はなく、国交省が全国の鉄道事業者を通じて「踏切として認めていないが、線路横断の形跡がある箇所」を調べた。

下野新聞社が今回、県内の鉄道事業者に問い合わせたところ、真岡鉄道は少なくとも3カ所、わたらせ渓谷鉄道は1カ所、東武鉄道と野岩鉄道は「なし」と回答した。JR東日本大宮支社は「公表しない」とした。県内の箇所数は、事業者がより正確に調べて自主申告したため増加に転じたと思われる。

（三谷千春、飯田ちはる）

設問

- 【1】見出しを五つ書き抜きましょう。
- 【2】勝手踏切について、前回の調査はいつで、そこから何カ所増減したのでしょうか。リード（1段落目）から読み取りましょう。
- 【3】勝手踏切は、なぜ箇所数が増えたのでしょうか。
- 【4】勝手踏切はなぜ問題なのでしょうか。一つ書きましょう。
- 【5】なぜ対策が進まないのでしょうか。二つ書きましょう。
- 【6】どんな対策なら効果があると思いますか。またはどんな対策をすべきだと思いますか。本文を読んだ上で考えて書きましょう。

り横断しにくい状態だが、約100以北にも近隣住民が田んぼへの行き来などで横断する場所がある。

近頃の70代女性は「こみ出しの時によく渡る。危険は分かるが（勝手踏切が）ないと遠回りしなければならず不便になる」と漏らす。真岡鉄道の担当者は「ロー

カル線として住民の生活に密着している分、地域の理解を得られないと対策は難しい」と吐露する。公共交通に詳しい安部誠治（あべまこと）関西大名教授は「全線をフェンスで覆うのは費用面から現実的ではない。住民の生活にも不便が生じるため、鉄道事業者は黙認せざるを得ない」と指摘する。鉄道事業者が柵や注意喚起の看板などで対策しても近くに新たな勝手踏切ができるケースが後を絶たないという。「近隣自治会や学校などに対し、危険箇所があるという啓発活動をする必要がある」と現実的な対策に言及する。



260

小学校高学年向け 年組